

環日本海研究国際シンポジウム報告 I :

図們江地域の開発と北東アジア諸国間の経済協力

朱 顯 平

(吉林大学—琿春市図們江国際開発研究所所長)

報告は中国、北朝鮮、ロシア三国による図們江地域開発の最新状況と、モンゴル、韓国、日本による図們江地域の開発への積極的な参与を紹介し、図們江地域の開発と北東アジア諸国間の経済協力との関係を分析し、その開発こそ北東アジア諸国間の経済協力の核心と推進力だということを指摘した。

中国・北朝鮮・ロシア三国による図們江地域開発の最新状況

(1) 中国は図們江地域開発の速度を速めている。図們江地域中国側は鉄道と国境沿いが経済開放地帯となっている。琿春経済開発区が力を入れて建設してきた国境経済合作区では投資環境をよりよくしようと社会資本の整備、低所得税率が実施されていて、現在既に近代化した新しい工業地帯の基盤整備ができています。また、琿春市では、長嶺子に中国・ロシア国境通商貿易区、圈儿河に中国・朝鮮通商貿易区、さらに防川通商貿易区と特別関税保護地区を設けることも計画されている。なお、中国政府は既に図們江地域の開発を全国初めての地域的企画開発区に指定し、その開発計画の作成にとりかかっている。今年中にも図們江国際経済貿易合作区の成立に許可がおりる見込みである。

(2) ロシアは開発の速度を早めて追いつこうとしている。ウラジオストック、ナホトカ、ハサンの三つの自由経済区を含む沿海州自由経済区を設けた。最も力を入れたのはナホトカ自由経済区で、1991年～1995年と1995年～2000年までの投資計画を立てて、毎年確実に多額の投資をしている。またクラスジノに国際商業貿易センターをつくる計画を発表し、「図們江自由経済区についての提案」をも作った。

(3) 北朝鮮は図們江の開発に全力で対処している。北朝鮮では、羅津—先鋒自由経済貿易区を設けて、しかもそこを中央直轄市に昇格させた。この区は法律が整っているし、開放度と自由度も大きい。毎年巨額の資金を社会資本の整備に投じている。北朝鮮自由経済貿易区は既に外国からの投資を9億ドル集めていて、投資の約束をした金額は総額20億ドルになる。

モンゴル・韓国、日本が図們江地域の開発への積極的な参与

(1) モンゴルは図們江地域の開発を非常に重視していて、東部三省をその受益地域として、外国からの投資を集める拠点にしようとしている。通信、交通施設の改善を進め、中国東北地方とつながる道路建設も計画されていて、図們江地域諸国間の経済協力を積極的に参与している。

(2) 韓国は積極的に図們江地域の開発を支持していて、それを通じて南北統一を図り、経済上で投資する場所を探し、図們江地域への投資をどんどん増やしている。

(3) 日本産業界は北東アジア諸国間の経済協力に参加したいと思っている。

図們江地域の開発と北東アジア諸国間の経済協力

(1) 図們江地域の開発こそ北東アジア諸国間の経済協力の核心である。

地理的に北東アジアの中心部にある図們江地域は交通の便がいいし、諸国間の協力によいところである。ここはまたアジアとヨーロッパを結ぶ接点でもあるし、大陸横断鉄道もここを通過しているし、近い将来、物流、貿易、輸出品加工産業開発の拠点になると思われる。図們江地域にある中国・北朝鮮・ロシア三国の自由経済区が隣接していて、経済貿易協力の発展が非常に速く、この地区は道路、鉄道により繋がり、互いに通商する拠点となっている。

(2) 図們江地域の開発は中国、ロシア、北朝鮮の相互協力から、図們江地域全体の協力へと発展させるのを促進した。また北東アジア諸国間の経済協力をも促進した。1995年に調印した五か国協議書は北東アジア経済の一体化を速めた。北東アジアでは、縦と横の分業がはっきりしていて、地域の一体化に非常に有利である。それから、図們江地域はまた、いくつかの特別な意義を持っている地域でもあると言えよう。中国にとって、図們江地域の開発はロシア・モンゴル・北朝鮮との政治経済関係を発展させる重要なルートである。近年、ロシア極東地方にできた地域的市場は極東地方の発展が図們江地域開発にかかっていることを決定づけた。図們江地域開発は北朝鮮、モンゴル、韓国にとっても極めて重要なことであり、日本の日本海地域の発展にも大きく役立つことだろうと思う。